

- 大会日程：2022 年 8 月 25 日（木）～8 月 28 日（日）
- 出場チーム：U18 ウルグアイ代表、U18 ウズベキスタン代表、U18 日本代表、静岡ユース
- 大会結果：2 位

SBS CUP INTERNATIONAL YOUTH SOCCER 2022 SBS カップ国際ユースサッカー						
	UZB	SHI	JPN	URY	Points	Goal Difference
UZBEKISTAN		○3-3 (4-3)	○1-1 (5-4)	○1-0	7	+1
SHIZUOKA	●3-3 (3-4)		○1-1 (4-3)	○3-0	6	+3
JAPAN	●1-1 (4-5)	●1-1 (3-4)		○1-0	5	+1
URUGUAY	●0-1	●0-3	●0-1		0	-5
【Point】 Win 3 PK・Win 2 PK・Lose 1 Lose 0						

●スタッフ

監督：鈴木啓史（裾野）

コーチ：松下幸平（ジュビロ磐田）

アシスタントコーチ：頼母木勇太（浜松湖北）

GK コーチ：阿部宏紀（清水桜が丘）

トレーナー：松柴圭（CURE）

主務：石川健太郎（三島北）

●選手選考

選考会を行わず、高体連選抜合宿、ヤングサッカーフェスティバル、各チームでの練習、リーグ戦等を視察して 18 名選考した。クラブ 10 名、高体連 8 名（3 年生 17 名、2 年生 1 名）

試合展開、怪我、出場停止等を想定した選手選考

- ・数名の選手以外は 2 つ以上のポジションで出場できる
- ・特徴のある選手（速さ、高さ、仕掛ける力、守備力、展開力、決定力等）を招集

●活動日数

8 月 17 日（水）練習会（時之栖 SC）、8 月 23 日（火）、24 日（水）練習会（草薙陸上競技場）

8 月 25 日（木）～8 月 28 日（日）大会期間

●ミーティング内容

【コンセプト】

攻守にハードワーク
 強気でチャレンジする
 代表選手の自信と誇り、感謝の気持ち

【攻撃】

ゴールに向かう
 相手の背後を取る（突破の動き、仕掛け）
 近くと遠くの選択肢を持つ
 奪った直後のプレーの質

【TEAM DISCIPLINE】

3 原則（球際、切り替え、運動量）
 自分の良さ（ストロング）を出す
 コミュニケーション（ピッチ内外）

【守備】

コンパクト
 ボールを奪いにいく（強く、深く、鋭く）
 前線からのハイプレス（守備のスイッチ）
 素早い 1stDF の決定とアプローチ
 PA エリア内での冷静さ

※静岡ユースのシステムは 4-4-2

※映像を使って今回チームとして表現したい攻撃、守備のプレーモデルを見せて全体共有した

●トレーニング

所属チームによりコンディションがバラバラだったので負荷は軽く、8月17日、23日、24日の練習日は簡単なメニューで各選手がコミュニケーションを取れるようにした。

映像で共有したプレーモデルを実際にやっていくか攻撃（23日）、守備（24日）に分けてトレーニングした（11vs11のゲーム形式）。

【攻撃】

- ・相手の背後を取ること
- ・ビルドアップ時のSBのポジショニング、チームとしての約束事の確認
- ・縦パスを入れたらサポートにつく
- ・ゾーンに入っていくためにポケットを取る

（突破の動きと仕掛け、PA内のポジショニングの確認）

【守備】

- ・ボールを奪いにいく迫力
- ・中を締めて外で奪う（同サイド圧縮）
- ・守備のスタートポジション
- ・4-3-3に対する守備の確認

●成果

3試合で選手個人としてもチームとしても逞しくなった
攻守において課題からの修正ができ次の試合では良いパフォーマンスにつながった
特に攻撃面に関しては3試合で7得点、狙った形での得点も多かった
スタッフのリレーション、チーム内での役割分担、各自が最大限の仕事ができた

●課題

1対1の強化（仕掛ける、奪う）
個の育成（強い個性、ストロングをもった選手の育成）
攻守の個人戦術の育成（4種、3種から）
高いレベルを日常にしていく
選考会ができず、練習会も少なかった（各チームとの調整が難しい）
采配の難しさ（ゲーム修正、交代のタイミングと人数）
静岡県選抜チームとしての成果と課題の共有、伝達、継承、積み上げ
若手指導者の関わり

●総括

活動日が少ない中、3試合でチームとしての成長は大きく、試合においてチームとしてできること、個人としてできることが多くあったと感じている。4日間で3試合日程ではコンディションの良し悪しが試合の結果に繋がる。疲労回復、ゲームプラン、自信を持たせて試合に臨むことに徹した。肌感覚では、海外チームは個の力はあるが、グループ戦術、チームとして静岡ユースの方が良かった。日本代表に関しては個の力は海外チームに比べ感じなかったが、個人戦術、グループ戦術に長けていて、ゲーム全体通して組織力で及ばなかったと感じている。

3年ぶりにSBSカップ国際ユースサッカーが開催され、多くの方々のご尽力により、選手、スタッフが本当に貴重な経験をさせていただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

